

# 財務省

## 国際保健分野における取組

財務省国際局  
2020年10月1日

# アジア・太平洋地域におけるUHC達成に向けた日本とADB連携の3つの柱（イメージ）

## 背景

- COVID-19からの経済回復には、検査・隔離・治療・行動追跡を通じた感染の再拡大予防が重要。そのためには保健システムの強化が不可欠であり、これに資するUHCの重要性が改めて顕在化。
- アジア・太平洋地域の国の発展段階は多様であり。感染症対策や母子保健といった伝統的な保健課題のみならず、生活習慣病・高齢化などの新たな課題も存在。各国の事情に応じたUHCの推進が不可欠。
- ADBは、Strategy 2030において保健を重点分野の一つに位置づけ。浅川新総裁のビジョンステートメントにおいても、UHCの推進をアジア・太平洋地域の課題として明言。

➔ 以下の3本柱の下、アジア・太平洋地域でのUHC達成に向け、日本とADBの連携を強化。具体的には今般合意予定のADF13の優先課題にRegional Health Securityを位置づけ、日本の拠出金と併せて資金協力や技術支援を実施。

## ①UHCを支える制度枠組の構築

- **持続可能な保健財政制度の構築**  
公的医療保険制度の整備、国内資金の動員促進、高齢化を踏まえた保健財政戦略の策定等
- **保健システムの対応力を強化する医療制度・態勢の構築**  
region-wideな治験態勢の構築、薬事規制の調和等
- **保健データ収集・管理制度の構築**  
Evidence-basedの政策立案のための保健データ収集体制の強化

## ②UHCを支える人材育成の強化

- **ニーズに応じた保健医療人材の育成と適切な配置**
- **保健政策の策定・実施に必要な専門家の育成**  
人材育成計画の策定・実施、人材データベースの整備等

## ③UHCを支えるインフラの整備

- **保健施設や医療機器の整備**  
マスタープラン策定、具体的な投資計画の策定・実行
- **保健システムを支える周辺インフラの整備**  
上下水道、コールドチェーン、電力等

# G20財務・保健大臣合同会議

9月17日20:00-22:50 (テレビ会議)

## 背景

- 昨年6月、日本のG20議長下、大阪サミットに合わせ、第1回G20財務・保健大臣合同会議を開催。「途上国におけるUHCファイナンス強化の重要性に関するG20共通理解」に合意。
- 新型コロナウイルス感染症を受け、UHCへの取組みを通じた感染症への備えと対応の向上が持続的な経済成長に不可欠であり、UHCへの投資が成長戦略としても重要であることが改めて明確化。
- こうした中、パンデミックへの備え・対応等について議論するため、本年3月のG20サミットにおいて、昨年大阪に続く第2回合同会議の開催を決定。

## 出席者

- G20各国の財務大臣と保健大臣、IMF、WBG、OECD、WHO等

## 目的

- 日本からは以下の3点を指摘。
  - 新型コロナウイルス感染症の危機に際し、G20として力強いメッセージを世界に示す必要。
  - ワクチンと薬の開発・製造・普及を世界的に進めるに当たり、特許利用の推進が重要。
  - 保健システム向上と経済回復のため、G20のUHCファイナンスへのコミットメントを再確認。

## 20 か国財務大臣・保健大臣合同会議 共同声明（仮訳）

（2020年9月17日）

我々に共通する緊急の優先事項は、新型コロナウイルスのパンデミックを克服し、その保健、社会及び経済への影響を緩和することである。我々は、2020年3月26日のG20臨時首脳会議における首脳のコミットメント及びそれ以降の進展に基づき行動を続ける。我々は、人命、雇用及び収入を守るとともに、世界経済の回復を支援し、下方リスクから守りながら、保健・金融システムの強じん性を高めるため、全ての利用可能な政策ツールを引き続き用いる。

我々は、保健システム強化に対する投資が、現下の危機を克服する上でも長期的にも、経済の強じん性と成長に好影響を与えることを認識する。我々は、ウイルスの拡散を制御し更なる伝染を防ぐため、新型コロナウイルスのパンデミックへの効果的な対応に投資することに引き続きコミットし、これにより経済的・社会的混乱を最小化し、強固で持続性があり均衡のとれた包摂的な成長へ回帰するための支援を強化する。

我々は、新型コロナウイルスのパンデミックとの闘いを支援するため、国際保健における資金需要に対応すべく資源を動員してきたほか、関連するイニシアティブや組織、資金調達プラットフォームへの更なる自発的な貢献を含む共同の努力を奨励する。我々は、パンデミックを克服し世界経済の回復を支援する鍵となる、全ての人々への公平かつ手頃なアクセスを支援する目的の下、新型コロナウイルスの診断法、治療薬及びワクチンの研究、開発、製造及び分配を加速させるため、「新型コロナウイルス対応ツールへのアクセス加速事業（ACT-A）」とその下のCOVAXファシリティー、また知的財産権に係る自主的なライセンス供与の取組を含め、世界的な対応を行う必要性と共同の行動を推進する重要性を強調する。我々は、資金需要に対応するために更なる行動が必要であることに留意する。我々は、国際開発金融機関（MDBs）に対し、新型コロナウイルスに係るツールへの各国のアクセスに対する資金支援を強化する方法を迅速に考慮するよう求める。我々は、新型コロナウイルスに対する広範な予防接種が、伝染を予防・抑制・阻止するための保健に係る国際公共財として有する役割を認識する。

我々は、「G20 行動計画-新型コロナウイルスパンデミックにおける世界経済の支援」の一環として、共同の行動を取り続けていく。我々は、この危機を乗り越え、強固で持続性があり均衡のとれた包摂的な世界経済の回復を見通すに当たり、保健と社会経済の状況変化に迅速に対応し、国際経済協力を前に進めていくという我々のコミットメントを再確認する。我々は、本日の会合の成果を、2020年10月のG20財務大臣・中央銀行総裁会議及び2020年11月のG20首脳会議に提示されるG20行動計画の更新版に反映させる。我々は、国際機関、とりわけIMFとOECDに対し、保健危機が今後もたらす経済的な影響についての様々なシナリオを策定していくに当たり、パンデミックに関する利用可能なデータを引き続き取り込むよう求める。

我々は、2020年3月のG20首脳の求めに応じて世界保健機関（WHO）が関連する国際機関と協力して実施した、感染症への備えに係るギャップ評価に留意する。我々は、新型コロナウイルスに関する世界保健総会（WHA）決議で示されているとおり、「パンデミックへの備え及び対応についての独立パネル（IPPR）」による、新型コロナウイルスのパンデミックに対する世界的な保健対応に係る評価作業に期待する。我々は、新型コロナウイルスに関する世界保健総会（WHA）決議で示されているとおり、新型コロナウイルスのパンデミックへの世界的な対応を調整し支援する上での国連システム及びWHOを含む国連諸機関の重要な役割と、そこでの加盟国による中心的な努力を認める。その際、WHOに係る進行中の評価作業とその全体的な実効性を強める必要性を考慮する。我々は、新型コロナウイルスのパンデミックが保健システムを強化する必要性を顕在化させ、国際社会がパンデミックの脅威につき効果的に予防・発見・対応する能力の脆弱性を示したことを認識する。このことは、保健システムを強化するコミットメントを実行し、とりわけ備え・予防・発見及び対応能力を高める必要性を強めるものである。

我々は、新型及び再興型の感染症病原体を前広に特定して対処するため、パンデミックのサーベイランスと感染症の情報収集・分析を支援し、保健システムの能力を強化し、研究開発を加速するプラットフォームを支援する努力を強化する。我々は、国際保健規則（IHR2005）を完全に遵守し、その履行を改善し、公衆衛生上の措置や非医薬的な介入の有効性に関するものを含め適時かつ透明性のある標準化されたデータと情報を継

続的に共有することへのコミットメントを再確認する。我々は、利用者に優しく意思決定に適した情報の収集・共有に係る革新的な手法を奨励する。

我々は、特に最も貧しく最も脆弱な人々を含む全ての人に対し、必要不可欠かつ質の高い保健サービスへの公平かつ手頃なアクセスの維持を可能とする、よく機能し、価値に根差し、包摂的で、強じん性のある保健システムの重要性を改めて強調する。我々は、公衆衛生を保護しこれに投資することを通じて、保健システムの強じん性と予防・発見・備え及び対応能力を改善するため、「途上国におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）ファイナンスの重要性に関する G20 共通理解」に対する我々のコミットメントを改めて強調する。我々は、UHC の達成に向けて前進するという我々のコミットメント、そして各国がその国の事情や UHC に向けた優先順位に沿って、それぞれの道筋を進んでいくことの重要性を想起する。我々は、女性、若者、及び社会の中で最も脆弱な立場にある人々に対して危機が与える不均衡な経済的・社会的影響に引き続き対処する。

現在の対策は極めて重要であるが、世界的なパンデミックへの備えと対応には依然として大きなギャップが存在する。従って我々は、新型コロナウイルスのパンデミックによってもたらされる最も差し迫った課題に対応することを助けるために的を絞った行動の基礎を築き、世界が将来の保健関連危機の影響を「ワン・ヘルス・アプローチ」に沿って抑制するためのより良い準備を確保すべく、共に働いていく。これには、薬剤耐性に取り組むための過去の G20 のコミットメントを実施することも含む。我々は、パンデミック、薬剤耐性感染症、非感染性疾患、及び大きな影響を与えるテールリスクに係る経済的リスクを、G20 による世界的なリスクのモニタリング及び備えに更に体系的に取り込む。我々は、2020 年 11 月の G20 首脳会議の前に、関係する国際機関の支援を得て、重要な知見と学んだ教訓を基に、世界的なパンデミックへの備えと対応における既存のギャップに対処するための提言を行う。

# Joint Statement

G20 Joint Finance & Health Ministers Meeting  
17 September 2020



Our urgent collective priority is to overcome the COVID-19 pandemic and alleviate its health, social and economic impacts. We continue to act upon our Leaders' commitments made at their extraordinary summit on 26 March 2020, and the progress achieved since. We will continue to use all available policy tools to safeguard people's lives, jobs and incomes, support the global economic recovery, and enhance the resilience of health and financial systems, while safeguarding against downside risks.

We recognize the positive impact of investment in health system strengthening on economic resilience and growth, both in overcoming the current crisis and in the long term. We remain committed to investing in an effective response to the COVID-19 pandemic to bring the spread of the virus under control and prevent further transmission; thereby minimizing the economic and social disruption while reinforcing our support for returning to strong, sustainable, balanced, and inclusive growth.

We have mobilized resources to address the financing needs in global health to support the fight against the COVID-19 pandemic, and encourage joint efforts including further voluntary contributions to relevant initiatives, organizations and financing platforms. We emphasize the need for a global response and the importance of taking forward our collective action to accelerate the research, development, manufacturing and distribution of COVID-19 diagnostics, therapeutics and vaccines, including through the Access to COVID-19 Tools Accelerator (ACT-A) initiative and its COVAX facility and voluntary licensing of intellectual property, with the aim of supporting equitable and affordable access for all, which is key to overcoming the pandemic and supporting global economic recovery. We note that further actions are needed to address the financing needs. We ask Multilateral Development Banks (MDBs) to swiftly consider ways to strengthen the financial support for countries' access to COVID-19 tools. We recognize the role of extensive immunization against COVID-19 as a global public good for health in preventing, containing, and stopping transmission.

We continue to take collective action as a part of the G20 Action Plan – Supporting the Global Economy through the COVID-19 Pandemic. We reiterate our commitment to respond promptly to the evolving health and socio-economic situations and drive forward international economic cooperation as we navigate this crisis and look ahead to a strong, sustainable, balanced and inclusive global economic recovery. We will reflect the outcomes of today's meeting in the updated G20 Action Plan that will be presented at the G20 Finance Ministers and Central Bank Governors' meeting in October 2020 and to the G20 Leaders' Summit in

# Joint Statement

G20 Joint Finance & Health Ministers Meeting  
17 September 2020



November 2020. We call on International Organizations (IOs), notably the IMF and OECD, to continue to integrate available pandemic data in elaborating different scenarios as for the economic impact of the health crisis going forward.

We take note of the assessment of gaps in pandemic preparedness that the World Health Organization (WHO) undertook in cooperation with relevant international organizations as requested by G20 Leaders in March 2020. We look forward to the work of the Independent Panel for Pandemic Preparedness and Response (IPPR) on evaluating the global health response to the COVID-19 pandemic as outlined in the World Health Assembly (WHA) Resolution on COVID-19. We acknowledge the important role of the United Nations' system and agencies, including the WHO, while considering the ongoing evaluations and the need to strengthen its overall effectiveness, in coordinating and supporting the global response to the COVID-19 pandemic and the central efforts of Member States therein, as outlined in the World Health Assembly (WHA) Resolution on COVID-19. We recognize that the COVID-19 pandemic has highlighted the need to strengthen health systems and has shown vulnerabilities in the international community's ability to prevent, detect and respond effectively to pandemic threats. This reinforces the need to deliver on commitments to strengthen health systems, particularly enhancing preparedness, prevention, detection and response capacities.

We will intensify our efforts to support pandemic surveillance and epidemic intelligence, strengthen health system capabilities, and support platforms to accelerate research and development, to proactively identify and address new and reemerging infectious pathogens. We reaffirm our commitment to full compliance with the International Health Regulations (IHR 2005), to improve their implementation and to the continued sharing of timely, transparent and standardized data and information including on health measures and the effectiveness of non-pharmaceutical interventions. We encourage innovative ways of capturing and sharing user- and decision-friendly information.

We re-emphasize the importance of well-functioning, value-based, inclusive and resilient health systems that can sustain equitable and affordable access to essential and quality health services for all, especially for the poorest and most vulnerable. We reemphasize our commitment to the G20 Shared Understanding on the Importance of Universal Health Coverage (UHC) Financing in Developing Countries to improve the resilience, prevention, detection, preparedness and response of health systems through protecting and investing in public health. We recall our commitment to move towards achieving UHC and the important role of countries' following their own paths in line with national contexts and priorities to UHC. We will continue to



# Joint Statement

G20 Joint Finance & Health Ministers Meeting  
17 September 2020



address the disproportionate economic and social impact of the crisis on women, young people, and the most vulnerable segments of society.

Although current measures are critical, major gaps still exist in global pandemic preparedness and response. Therefore, we will work together to lay the foundation for targeted actions to help respond to the most immediate challenges posed by the COVID-19 pandemic and ensure that the world is better prepared to curb the impact of future health-related crises in line with One Health Approach. This includes delivering on previous G20 commitments to tackle antimicrobial resistance. We will integrate the economic risks of pandemics, drug resistant infectious diseases, non-communicable diseases and high-impact tail risks more systematically into the G20's global risk monitoring and preparedness. We will, with the support of relevant IOs, build on key findings, lessons learned and propose recommendations to address existing gaps in global pandemic preparedness and response ahead of the G20 Leaders' Summit in November 2020.